

児玉房子のガラス絵の世界にようこそ



1941 年 東京生まれ
日本美術会会員
日本ガラス絵協会会員

ガラス絵は、透明なガラス板の裏側から油えのぐなどで描いて表から見ます。絵の面が直接空気に触れないため変色しにくく、新鮮でつやのある色彩を保ちます。ガラス絵の歴史は、古くは14世紀のイタリアに始まり、18世紀には世界中に広まり、日本にもオランダ、中国から幕末に入ってきました。日本の絵師達は、すぐに見習って沢山のガラス絵を描きましたが、今は描く人はまったく少なくなっています。

私は30年前に油絵の高価なキャンバスが買えず、捨ててあるガラスの破片を拾って切りそこに描き始めました。また、ガラス絵の源流を求めて、世界を歩きました。現在は18年前から岩手県の遠野に住み、自給自足の生活を目指しています。都会では失ってしまった大切なものが、まだ残っている「もう一つの日本」といわれる東北の地で、ガラス絵を通してみなさまと生き生きと楽しむ力をともに分かちあいたいと思っています。

児玉房子

今までに描いた作品数は、1000を超える。日本各地で個展のほか、2002～04年には、日本・ルーマニア交流百周年記念行事の一環として、ルーマニア各地で巡回展開催。秋田でも、2005年に「コスタリカ展」、2008年に、ガラス絵作家・児玉房子の軌跡をたどる作品展「世界を旅して賢治の国へ」を開催。

いのち一番、誰もが夢や希望を持って暮らせる社会を願って描き続ける児玉さんのガラス絵は、気取ることなく温かで力強く輝いている。

主な著書

- 「ガラス絵に魅せられて」 (1993)
- 「コスタリカ賛歌」 (2001)
- 「女たちの遠野」 (2003)
- 「ガラス絵で宮沢賢治の国へ」 (2008)
- 「ガラス絵の宮沢賢治」(全10巻) (2005～08)

上記の本は 読書コーナーでゆっくりご覧いただけます。

★おたのしみ企画★

- ・ギャラリートーク ガラス絵展会場

2014. 3. 22 (土) 14時～15時

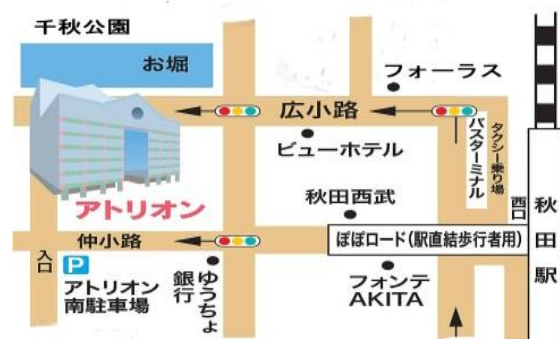
- ・講演会

「コスタリカと日本—共通するところと違うところ—」

2014. 3. 23 (日) 14時～15時

アトリオン6階 ハーモニープラザ

★3/21～23は 10時～12時、15時～16時 (最終日は未定)
会場で 児玉さんとお話できます。



協賛企画

会場は県立図書館

- ・絵本原画(ガラス絵)のスロープ展示 3/1(土)～23(日) 休館日 3/3
- ・塩田睦子さんによる朗読会 3/2(日) 13時～14時 3階 多目的ホール
「ガラス絵の宮沢賢治」より「虔十公園林」「よく利く薬とえらい薬」、他
県立図書館共催

高校生以下は無料です。
小さなお子さんも一緒にどうぞ。